

決算補足説明資料

(2023年3月期通期)

ミアヘルサホールディングス株式会社
(東証スタンダード市場：7129)

2023年5月15日



2023年3月期通期 (決算概要)

2023年3月期通期 決算概要



業績状況

【売上高】 前期比 +14.0% 【営業利益】 前期比 +2.5%

増収・増益

主な要因

【売上高】 グループ会社化（2021年10月）したライフサポート(株)の売上高が寄与。

【営業利益】 **介護事業**：コロナの影響で、サービス付き高齢者向け住宅の入居者数の減少による併設サービス及び、通所介護事業所の休業・利用自粛等により利用者数が減少したことで営業損失。

医薬事業：2022年4月実施の調剤報酬改定、薬価改定(改定率△6.69%)の影響で利益率が低下。

保育事業：ライフサポート(株)の不採算であった認証保育園の閉園、間接コスト削減等による利益改善。

【当期純利益】 **特別利益**：2023年4月開園の認可保育園の新規開設に伴う施設補助金等 + 330百万円計上。

特別損失：①ミアヘルサ(株)にて、事業所閉鎖（予定含む）の減損損失の計上。

②ライフサポート(株)にて、グループ会社化した以前の時間外手当の追加支給分の過年度給与手当及び、事業所閉鎖による閉鎖事業所関連費等の計上。

■第4四半期業績状況（累計）

（単位：千円）

	第4四半期		前年同期比	
	2022年3月期	2023年3月期	増減額	増減率
売上高	19,510,261	22,249,391	2,739,130	14.0%
売上総利益	1,897,690	2,011,941	114,251	6.0%
販売費及び一般管理費	1,711,320	1,820,828	109,508	6.4%
営業利益	186,370	191,112	4,742	2.5%
営業利益率（%）	1.0%	0.9%	-	-
経常利益	189,986	169,277	△20,709	△10.9%
経常利益率（%）	1.0%	0.8%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	291,566	209,580	△81,986	△28.1%

2023年3月期通期
(セグメント業績)

セグメント売上高・セグメント利益（前年同期比）



業績状況

【売上高】前期比+14.0% 【営業利益】前期比+2.5%

増収・増益

■セグメント売上高・利益（累計）

（単位：千円）

		2022年3月期	2023年3月期	前年同四半期比	
		第4四半期	第4四半期	増減額	増減率
 医薬事業	売上高	8,784,052	8,986,009	201,957	2.3%
	セグメント利益	559,055	531,209	△27,846	△5.0%
 介護事業	売上高	3,408,845	3,444,157	35,311	1.0%
	セグメント利益又は損失	24,692	△147,393	△172,085	—
 保育事業	売上高	6,412,420	8,874,431	2,462,011	38.4%
	セグメント利益	361,913	537,438	175,524	48.5%
報告セグメント計	売上高	18,605,318	21,304,599	2,699,281	14.5%
	セグメント利益	945,661	921,254	△24,407	△2.6%
 その他 (食品事業)	売上高	904,943	944,792	39,849	4.4%
	セグメント利益	39,017	48,280	9,262	23.7%
調整額	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益	△798,308	△778,421	19,887	—
全社計	売上高	19,510,261	22,249,391	2,739,130	14.0%
	セグメント利益	186,370	191,112	4,742	2.5%



業績状況

【売上高】前期比+2.3% 【営業利益】前期比△5.0%

増収・減益

主なポイント

- ① **処方箋枚数**： +7.7% (前年同期比)
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているものの、新規出店効果により処方箋枚数が増加。
- ② **処方箋単価**： △5.0% (前年同期比)
 - ・薬剤料単価 = 2022年4月に実施された薬価改定(改定率△6.69%)の影響により低下。
 - ・技術料単価 = 後発医薬品調剤加算体制の強化、「在宅医療業務」「かかりつけ薬局」等のサービスの充実を図ることで加算獲得に努めるも、調剤報酬改定の影響等により技術料単価の低下。
- ③ 2022年5月開設の薬局(1店舗)のための先行コストの発生のほか、引き続き、処方元である新設の大型病院の患者様の受入れ態勢の整備が遅れていることにより売上・利益面で伸び悩み。

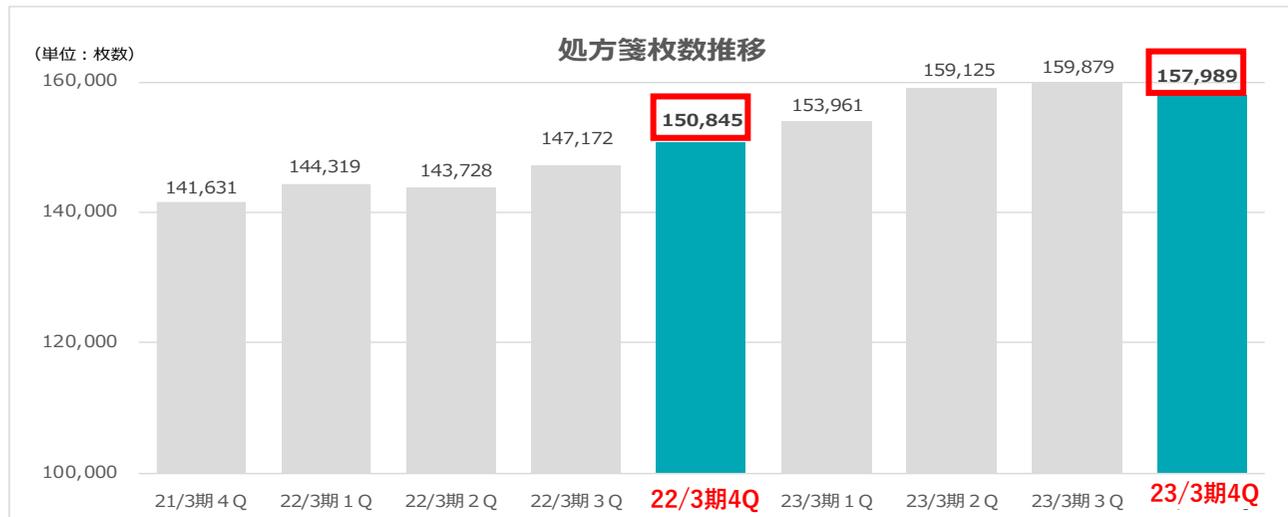
医薬事業	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第4四半期	第4四半期	増減額	増減率
売上高 (千円)	8,784,052	8,986,009	201,957	2.3%
セグメント利益 (千円)	559,055	531,209	△27,846	△5.0%
セグメント利益率 (%)	6.4%	5.9%	△0.5 ^割	—



主なKPI

処方箋枚数の推移 ・ 処方箋単価（平均）の推移

■ 処方箋枚数の推移



処方箋枚数

前年同四半期比 **+7,144** 枚

*うち新店舗 +4,112枚
(2021年12月以降開局)

■ 処方箋単価（平均）の推移



処方箋単価

前年同四半期比 **△975** 円

*うち薬剤料 △927円

*うち技術料 △48円

※処方箋単価は、四半期毎の平均単価



2023年3月期4Q 介護事業（前年同期比）



業績状況

【売上高】前期比+1.0% 【営業利益】△147百万円（前年同期は営業利益24百万円）

主なポイント

- ① サービス付き高齢者向け住宅の入居率：△4.0ポイント（前年同期比）
 - ・前年同期の入居率：94.4% → 当期の入居率：90.4%
 - ・併設サービス（通所介護事業所・定期巡回サービス等）の利用者数の減少。
- ② 通所介護利用者数：△8.8%（前年同期比）
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響による事業所の休業、感染予防の観点からの一部利用者の利用自粛により、利用者数が減少。
- ③ 特別損失計上：不採算となっている通所介護事業所1事業所閉鎖したほか、4事業所を閉鎖予定のため減損損失52百万円、閉鎖事業所関連費（引当含む）7百万円計上。
- ④ 2021年9月に開設したホスピスの利用者数増加、2021年10月にグループ会社化したライフサポート(株)の介護事業の売上が寄与。一方、ホスピスの看護師等の採用コストの増加により減益。

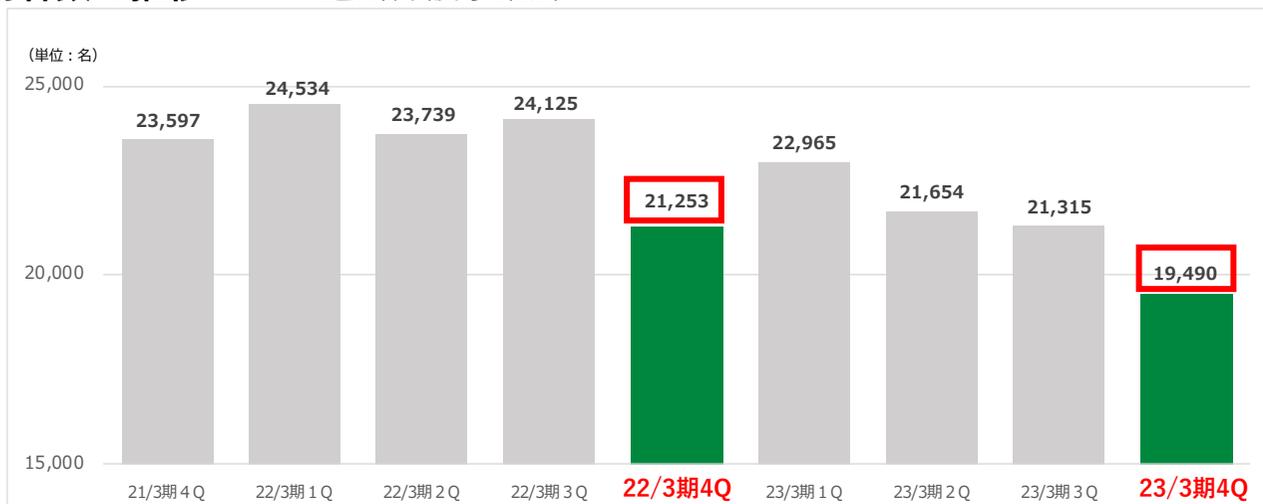
介護事業	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第4四半期	第4四半期	増減額	増減率
売上高（千円）	3,408,845	3,444,157	35,311	1.0%
セグメント利益又は損失（千円）	24,692	△147,393	△172,085	—
セグメント利益率（%）	0.7%	△4.3%	—	—



主なKPI

利用者数の推移（通所介護）・入居率の推移（サービス付き高齢者向け住宅）

■利用者数の推移 — 通所介護事業所 —

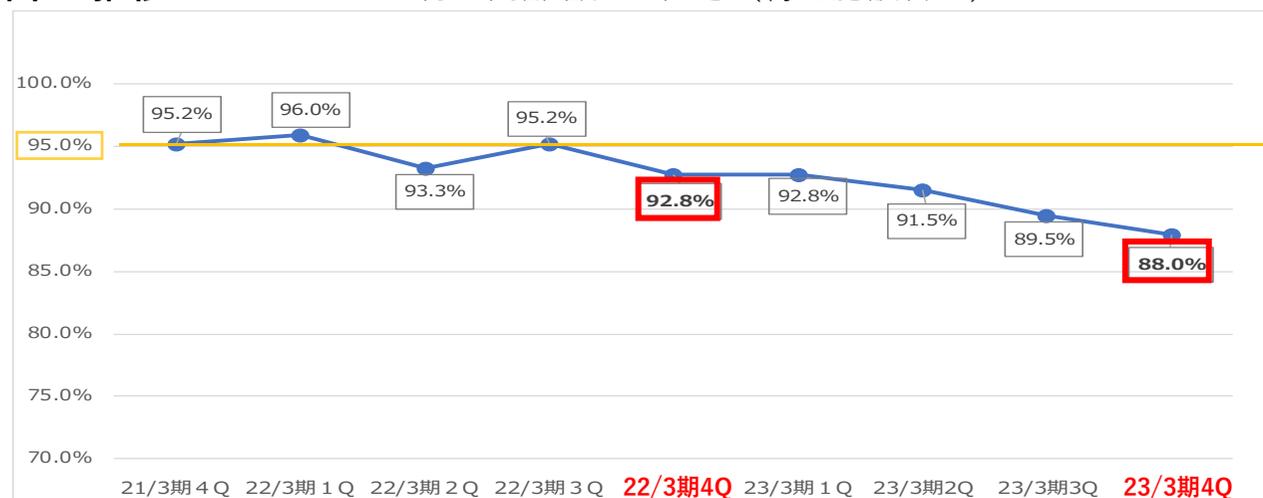


利用者数

前年同四半期比 $\triangle 1,763$ 名

うち閉鎖事業所の影響
 $\triangle 787$ 名

■入居率の推移 — サービス付き高齢者向け住宅（特定施設含む） —



入居率

前年同四半期比 $\triangle 4.8$ ポイント

1. 入居者の逝去等による入居者数の減少
2. 新型コロナウイルスの影響により、入居促進が図れず、前年同期比で大幅減少



2023年3月期4Q 保育事業 (前年同期比)



業績状況

【売上高】前期比+38.4%

【営業利益】前期比+48.5%

増収・増益

主なポイント

- ① **園児数**： +25.8% (前年同期比)
 - ・ 2021年10月にグループ会社化したライフサポート株の園児数・児童数の増加が寄与。
 - ・ 2021年4月及び、2022年4月に開設した認可保育園の園児数の増加が寄与。
- ② **セグメント利益率**： +0.4% (前年同期比)
 - ・ ライフサポート株の不採算であった認証保育園の閉園、間接コスト削減等による利益改善。
- ③ **運営事業所数**： △5事業所 (前年度末比)
 - ・ 開設5事業所： 認可保育園3園、学童クラブ1ヵ所、指定管理者として公立保育園1園の運営開始
 - ・ 閉鎖8事業所： 認証保育園4園、学童クラブ等2ヵ所、保育室2ヵ所
 - ・ 譲渡1事業所： 認可外保育園1園の運営会社の全株式譲渡
 - ・ 休園1事業所： 認証保育園1園休園 (2023年4月に認可化移行に向けた準備)

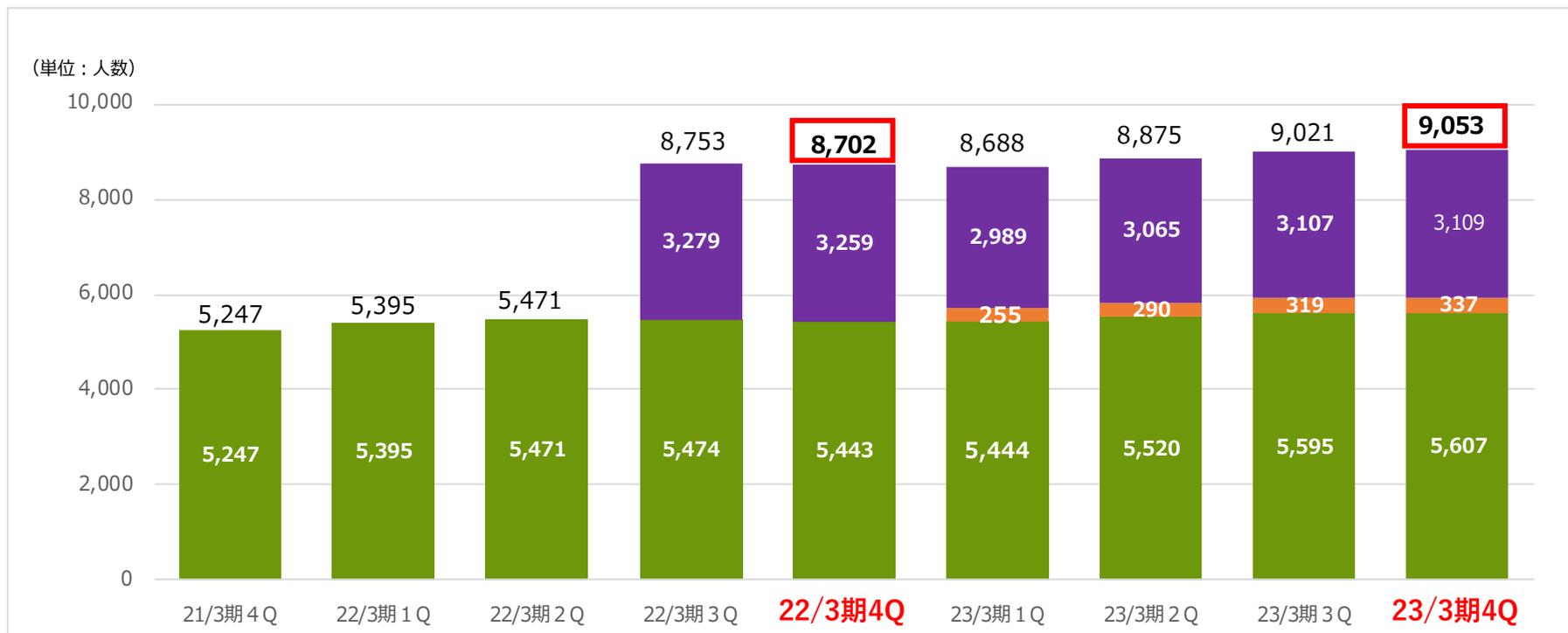
保育事業	2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
	第4四半期	第4四半期	増減額	増減率
売上高 (千円)	6,412,420	8,874,431	2,462,011	38.4%
セグメント利益(千円)	361,913	537,438	175,524	48.5%
セグメント利益率 (%)	5.6%	6.0%	+0.4 ^{※1}	—



主なKPI

園児数の推移

■園児数の推移



保育園区分

- ライフサポート
- 2022年4月開園保育園 (ミアヘルサ(株)×3園)
- 既存保育園 (旧 東昇商事を含む)

園児数

前年同四半期比 **+351**名

- ライフサポート社 Δ 150名
- 新規保育園 +337名
- 既存保育園 +164名

2023年3月期
連結業績予想達成度

2023年3月期 業績予想(11/9公表) 達成状況



2023年3月期
業績の進捗率

【売上高】 **100.7%** 【営業利益】 **101.7%** 【経常利益】 **94.0%**
【親会社株主に帰属する当期純利益】 **81.9%**

(単位：千円)	2023年3月期		
	実績	業績予想 (11/9)	進捗率
売上高	22,249,391	22,100,000	100.7%
営業利益	191,112	188,000	101.7%
営業利益率 (%)	0.9	0.9	—
経常利益	169,277	180,000	94.0%
経常利益率 (%)	0.8	0.8	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	209,580	256,000	81.9%
当期純利益率 (%)	0.9	1.2	—
1株当たり当期純利 (円)	84.22	102.87	81.9%

主なポイント

【売上高・営業利益】 …… **予想通り推移**

- ① **M&A効果**：
- ・グループ会社化(2021年10月)したライフサポート(株)の売上高がフルに寄与。
 - ・経営効率化が想定通り進捗中。

- ② **新規出店効果**：
- ・医薬・保育事業の新規事業所の業績が寄与。

【経常利益】 …… **予想達成率：94.0%**

- ① **営業外費用の増加**： +30M

【当期純利益】 …… **予想達成率：81.9%**

- ① **特別損失**： 186百万円計上
- ・事業所の閉鎖に伴う減損損失78百万円、閉鎖事業所関連費（引当含む）37百万円の計上。
 - ・子会社において、グループ会社化以前の時間外手当の追加支給分の過年度給与手当等44百万円計上。

【前提】：上記連結業績予想につきましては、2022年11月9日の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました業績予想です。

2023年3月期 業績予想(11/9公表) < 四半期毎 >



2023年3月期					
(単位：千円)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期累計	
	実績	実績	実績	業績予想(11/9)	実績
売上高	5,488,366	10,931,326	16,533,214	22,100,000	22,249,391
営業利益	△13,544	7,414	38,914	188,000	191,112
営業利益率 (%)	△0.2	0.1	0.2	0.9	0.9
経常利益	△22,693	△11,227	11,974	180,000	169,277
経常利益率 (%)	△0.4	△0.1	0.1	0.8	0.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	△52,059	△44,372	△58,960	256,000	209,580
当期純利益率 (%)	△0.9	△0.4	△0.4	1.2	0.9

2024年3月期 連結業績予想

2024年3月期通期 連結業績予想



業績状況

【売上高】前期比 $\Delta 1.1\%$ 【営業利益】前期比 $+46.5\%$

減収・増益

(単位：千円)	2023年3月期	2024年3月期	
	実績	予想	前期比 (%)
売上高	22,249,391	22,000,000	$\Delta 1.1\%$
営業利益	191,112	280,000	$+46.5\%$
営業利益率 (%)	0.9	1.3	-
経常利益	169,277	280,000	$+65.4\%$
経常利益率 (%)	0.8	1.3	-
親会社株主に帰属する当期純利益	209,580	130,000	$\Delta 38.0\%$
当期純利益率 (%)	0.9%	0.6%	-
1株当たり当期純利益(円)	84.22	52.24	$\Delta 38.0\%$

主なポイント

【売上高】……減収（概ね横ばい）の見込み

- 医薬事業：**
 - ・2023年4月実施の薬価改定（ $\Delta 5.0\%$ ）の影響により減収の見込。
- 介護事業：**
 - ・新規開設事業所（ホスピス流山）効果・通所介護事業所の閉鎖による減収により、横ばいの見込。
- 保育事業：**
 - ・不採算な認証保育園の閉園及び、学童等の業務受託終了（2023年3月末）により、減収の見込。

【営業・経常利益】……増益の見込み

- 医薬事業：**
 - ・前年に引き続き、後発医薬品調剤体制加算等の強化により、技術料の加算に努め利益の維持を図る。
- 介護事業：**
 - ・新規開設事業所（ホスピス流山）の先行投資発生も、サービス付き高齢者向け住宅向け住宅・ホスピスの入居率回復による併設事業所の稼働状況及び、不採算事業所（通所介護支援事業所）の閉鎖により、利益改善の見込。
- 保育事業：**
 - ・2023年4月開設保育園の運営コスト発生及び、2023年3月末で一部学童クラブ等の業務受託の終了により減益見込。

【当期純利益】……減益の見込み

- 特別利益**
 - ・保育園の施設開設補助金はない（2023年3月期：330百万円）

2024年3月期通期 連結業績予想 (セグメント別)



業績状況

【売上高】前期比 $\Delta 1.1\%$ 【営業利益】前期比 $+46.5\%$

減収・増益

■セグメント売上高・利益 (累計)

(単位：千円)

		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比
		実績	実績	業績予想	増減額
医薬事業	売上高	8,784,052	8,986,009	8,800,000	$\Delta 186,009$
	セグメント利益	559,055	531,209	525,000	$\Delta 6,209$
介護事業	売上高	3,408,845	3,444,157	3,450,000	5,842
	セグメント利益又は損失	24,692	$\Delta 147,393$	20,000	167,393
保育事業	売上高	6,412,420	8,874,431	8,800,000	$\Delta 74,431$
	セグメント利益	361,913	537,438	490,000	$\Delta 47,438$
報告セグメント計	売上高	18,605,318	21,304,599	21,050,000	$\Delta 254,599$
	セグメント利益	945,661	921,254	1,035,000	113,746
その他 (食品事業)	売上高	904,943	944,792	950,000	5,207
	セグメント利益	39,017	48,280	36,000	$\Delta 12,280$
調整額	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益	$\Delta 798,308$	$\Delta 778,421$	$\Delta 791,000$	$\Delta 12,578$
全社計	売上高	19,510,261	22,249,391	22,000,000	$\Delta 249,391$
	セグメント利益	186,370	191,112	280,000	88,887

2024年3月期 業績予想 (四半期毎)



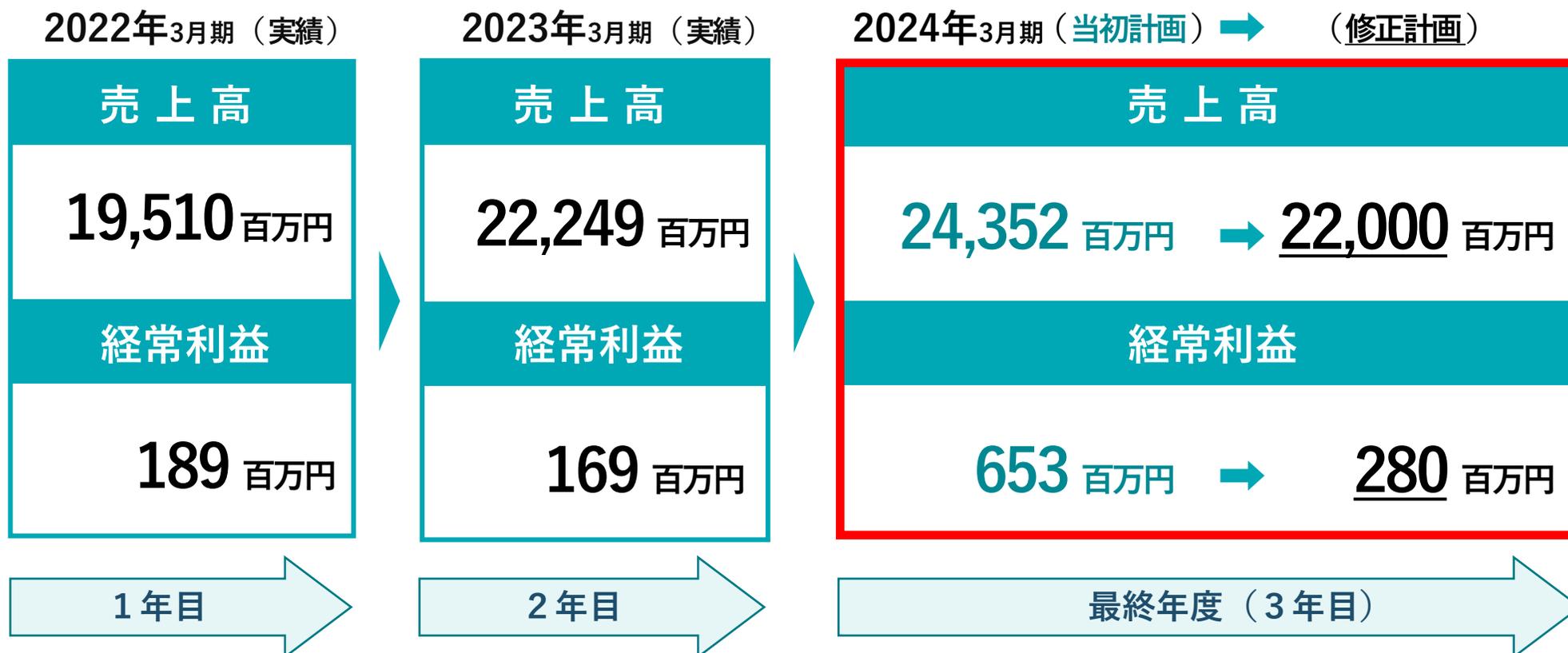
2024年3月期				
(単位：千円)	第1四半期	第2四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	第4四半期 (累計)
	業績予想	業績予想	業績予想	業績予想
売上高	5,350,000	10,800,000	16,390,000	22,000,000
営業利益	△29,000	4,000	120,000	280,000
営業利益率 (%)	△0.5	0.0	0.7	1.3
経常利益	△29,000	3,000	120,000	280,000
経常利益率 (%)	△0.5	0.0	0.7	1.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	△25,000	△9,000	65,000	130,000
当期純利益率 (%)	△0.5	△0.1	0.4	0.6

中期経営計画 (進捗状況)

中期経営計画の最終年度（2024年3月期）の業績見通し

2023年3月期業績状況、及び足元の事業環境を踏まえ、2024年3月期の計画を下方修正

中期経営計画期間（2022年3月期～2024年3月期）



（注）2022年6月8日開示の「修正版中期経営計画」との比較

中期経営計画の下方修正の主な要因

① 医薬事業

- 新規開設店舗において、処方元である新設の大型病院における患者様の受入れ態勢の整備が、早期に改善できない見込みのため、想定していた処方箋の獲得枚数が大幅に下回る見込み。

② 介護事業

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス付き高齢者向け住宅の入居率の改善状況が遅れているため、併設事業所の利用者数の回復も遅れる見込み。
- 不採算である通所介護事業所を5ヵ所閉鎖予定としており、利用者数の減少で当初計画に比べて売上高が減少。
- ホスピスにおいて、看護師等の人員体制の整備が遅れたため、想定していた利用者の獲得が下回る見込み。

Appendix

主な経営指標の推移 (2023年3月期)



回次		第35期	第36期	第37期	第1期	第2期
決算年月		2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
売上高	(千円)	16,134,543	16,686,358	16,754,542	19,510,261	22,249,391
経常利益	(千円)	221,619	337,757	340,243	189,986	191,112
当期純利益	(千円)	339,765	435,895	478,180	291,566	209,580
資本金	(千円)	97,000	451,589	455,198	300,550	300,620
発行済株式総数	(株)	194,000	2,450,600	2,473,600	2,488,300	2,488,700
純資産額	(千円)	1,370,676	2,515,003	2,975,849	3,202,696	3,337,732
総資産額	(千円)	8,256,536	8,848,870	10,069,261	14,205,288	14,135,911
1株当たり純資産額	(円)	706.16	1,026.27	1,203.04	1,287.13	1,341.20
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額)	(円)	— (—)	— (—)	25.0 (10.0)	※4 30.0 (13.0)	30.0 (13.0)
1株当たり当期純利益	(円)	175.14	222.42	194.40	117.49	84.22
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	—	222.12	191.57	116.61	83.84
自己資本比率	(%)	16.6	28.4	29.6	22.5	23.6
自己資本利益率	(%)	28.3	22.4	※3 16.1	8.5	6.4
株価収益率	(倍)	—	4.9	6.3	—	12.0
配当性向	(%)	—	—	12.9	14.5	35.6

※1. 2021年3月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年3月期～2020年3月期の2期間については、ミアヘルサ単体決算数値・2021年3月期はミアヘルサ連結決算数値となっております。

※2. 2019年8月9日開催のミアヘルサ取締役会決議により、2019年8月29日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っておりますが、第35期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算出しております。

※3. 2021年3月期の自己資本当期純利益は、連結初年度のため、期末自己資本に基づき計算しております。

※4. 2022年3月期(第1期)において、当社の完全子会社であるミアヘルサ(株)にて1株当たり配当額13.0円を実施しており、HDの期末配当と合わせると1株当たり配当額30.0円となります。

- 本資料には、当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。
- これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

ご質問がありましたら下記窓口までお問い合わせください。
ありがとうございました。

I R お問合せ窓口	ミアヘルサホールディングス株式会社 I R 担当 E-mail contact-ir@merhalsa.jp T E L 03-3341-7205 IRサイト https://www.merhalsa-hd.jp/ir/inquiry/
---------------	--

免責事項

- 本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、保証するものではありません。
- また、環境に関する記載内容は、信頼できると思われる各データに基づいて作成しておりますが当社はその正確性、完全性を保証致しかねますのでご了承ください。
- 本資料は、皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆様のご判断で行われますようお願い申し上げます。